資料 2

【浜田市行財政改革大綱（案）】のパブリックコメントに係る意見と浜田市の考え方

No	頁	項目	意　見	浜田市の考え方
1	7	2.公共施設マネジメント （2）老朽化対策・長寿命化	上下水道の施設更新に当たっては、能登半島地震などの悲惨な震災後の実態も踏まえ、水が来なくてトイレが使えないというような事態を出来るだけ回避できるよう、水道の耐震化と下水道の選択肢（合併浄化槽がより有効な場合等）の幅など、総合的で経済的な対応をよろしくお願いします。	ご意見いただきありがとうございます。 ご意見に関しては、行財政改革大綱の下位計画である行財政改革実施計画で取組項目として管理しております。引き続き行財政改革実施計画において管理するほか、浜田市上水道事業施設耐震化・更新計画や公共下水道のストックマネジメント計画といった各個別計画に基づき実施していきます。
2	8	3.持続可能な財政基盤の確立 （1）行政効果の最適化	予算案作成前の情報公開を追加してください。 現行の「既存の事務事業について、成果、必要性等を検証しつつ、必要な投資を行いながら、目的や対象が類似する事業の統廃合などを進めるなど、『最少の経費で最大の効果』を挙げることを目指して、行政効果の最適化を推進します。」という記述の後に、次の趣旨を追加してください。 市が新たな事業、計画又は既存事業の拡充を検討する場合には、予算案を作成した後に初めて事業内容を明らかにするのではなく、事業内容、規模及び予算額について実質的な変更が可能な構想・企画段階から、解決しようとする課題、事業の目的、想定する内容、概算事業費、市の負担見	ご意見いただきありがとうございます。 これまでも、特に市民生活に大きな影響を与える事業や将来にわたって多額の財政負担が見込まれる事業等については、パブリックコメント制度や市民向けの説明会等でご意見をいただきながら、事業化に向けて検討を進めてきたところです。 今後もそうした方法で、早期の情報公開、市民の皆さまの意見を踏まえた事業構築に努めてまいります。

			込額、期待する効果及びその根拠等を可能な範囲で公表します。	
3	8	3.持続可能な財政基盤の確立 （1）行政効果の最適化	同「行政効果の最適化」に、事務事業情報の公開を追加してください。No.2 の追加文に続けて、次の趣旨を追加してください。 市が予算要求を行う事務事業については、原則として、事業の目的、必要性、対象、事業費、市の実質的な負担額、これまでの実績、期待する成果及び成果を判断する指標等を整理し、市民及び議会が確認できる形で公表します。法令等により実施が義務付けられ、市に裁量の余地がほとんどない事務等については、項目を簡略化できるものとします。	ご意見いただきありがとうございます。 これまでも、当初予算及び補正予算の説明資料の拡充に努めてきたところです。 特に新規・拡充事業については、目的、背景、効果、事業費等を分かりやすく示すため、専用の説明シートを設けております。 引き続き、これらの資料により予算事業情報を公開するとともに、現在策定を進めている第三次浜田市総合振興計画で政策と予算事業を連動させ、評価結果を次年度予算編成に反映させることで、ＰＤＣＡサイクルによる進捗管理に努めていく予定にしています。
4	8	3.持続可能な財政基盤の確立 （1）行政効果の最適化	同「行政効果の最適化」に、詳細な事前評価の対象を明記してください。No.3 の後に、次の趣旨を追加してください。 次のいずれかに該当する事業については、通常の事務事業評価に加え、詳細な事前評価を実施します。①総事業費 1 億円以上の事業、②公共施設の新設、建替え、大規模改修、統合又は複合化に関する事業、③主要なインフラの新設、大規模改修又は更新のうち総事業費 1 億円以上の事業、④複数年度にわたり大きな財政負担を生じさせる事	ご意見いただきありがとうございます。 現状として、事前評価については基準や手法は定めておりませんが、いただいたご意見を参考に、研究してまいります。

			業、⑤既存事業について対象、内容又は規模を大幅に拡充する事業、⑥その他、市の将来の財政又は行政サービスに重大な影響を及ぼす事業。対象を恣意的に選定することがないよう、具体的な判定基準を定め、公表します。	
5	8	3.持続可能な財政基盤の確立 （1）行政効果の最適化	同「行政効果の最適化」に、詳細事前評価の項目と代替案比較を明記してください。No.4の後に、次の趣旨を追加してください。 詳細な事前評価では、少なくとも、事業の目的、解決しようとする課題、必要性、対象者又は想定利用者、総事業費、市の実質負担額、地方債発行額及び元利償還見込額、維持管理等の将来負担、期待する効果、成果指標、利用者数等の需要予測及びその根拠、検討した代替案並びに採用案を選択した理由を明らかにします。 また、当初案のみを評価するのではなく、規模縮小、既存施設・制度の活用、他事業との統合、民間施設・民間サービスの活用、実施方法や時期の変更及び事業を実施しない場合を含め、実行可能な代替案を比較します。	ご意見いただきありがとうございます。 現状として、事前評価については基準や手法は定めておりませんが、いただいたご意見を参考に、研究してまいります。
6	7	2.公共施設マネジメント （1）再配置	長期的な総費用の比較を追加してください。現行の「既存施設を更新する際は、安易な新設・建替えや現状維持を前提とせず、利用実態や将来需要に基づき、適正な再配置を検討します。」という	ご意見いただきありがとうございます。 公共施設等の新設・修繕におけるライフサイクルコストの算定・比較は、将来の財政負担を把握するうえで必要な視点だと認識しております。

			記述の後に、次の趣旨を追加してください。 公共施設の新設、建替え、大規模改修、統合又は複合化を検討する場合には、初期整備費のみでなく、維持管理費、光熱水費、修繕費、設備更新費、運営に必要な人件費、地方債の元利償還、大規模改修費及び除却費等を含むライフサイクルコストを算定し、複数の代替案について長期的な公的負担を比較します。	本市では公共施設等総合管理計画に基づき、施設の長寿命化や施設のライフサイクルコスト縮減に向けた中長期的な視点での維持管理を行うこととしております。 このため、今後改訂する公共施設等総合管理計画の中に反映する方向で考えてまいります。
7	7	2.公共施設マネジメント （2）老朽化対策、長寿命化	更新需要・優先順位・時期・概算額の把握を追加してください。 現行の「点検・診断等の結果を基にした中長期的なビジョンを見据え、施設の事後保全から予防保全への転換を図るとともに、施設の長寿命化や維持管理費の平準化、施設更新順位の公正化を図る」という記述の後に、次の趣旨を追加してください。 公共施設及び主要なインフラについて、中長期的な修繕・更新需要を把握し、可能な範囲で施設等ごとの優先順位、実施予定年度及び概算事業費を整理します。 また、新たな事業の追加、事業の前倒し又は延期を行う場合には、その理由及び他の事業への影響を明らかにします。	ご意見いただきありがとうございます。 公共施設等については、中長期的な方針である公共施設等総合管理計画や、個別施設の将来方針や実施時期を定めた公共施設再配置実施計画に基づき、計画的な総量管理を行っているところであり、財政的な影響については、毎年度ローリングする中期財政計画に盛り込んで推計しているところです。 中期財政計画の中に新たな事業の追加・前倒し・延期の理由や影響までを盛り込むことは難しいと考えていますが、特に市民生活に大きな影響を与える事業や将来にわたって多額の財政負担が見込まれる事業等については、しっかり説明責任が果たせるよう努めてまいります。

8	8	3.持続可能な財政基盤の確立 （3）健全財政の推進	公共施設関係計画との連動を追加してください。 現行の「計画的な地方債管理等、中長期的な財政状況の把握に基づき、実質公債費比率や将来負担比率を健全な水準に保つなど、次世代に負担を残さない財政運営を推進します。」という記述の後に、次の趣旨を追加してください。 中期財政計画は、公共施設等総合管理計画、公共施設再配置実施計画、各公共施設及びインフラの個別施設計画その他の主要計画と連動させ、これらから見込まれる将来の大規模修繕、更新、建替え等の財政需要を反映します。 個々の事業内容や実施年度が確定していない場合であっても、将来発生することが合理的に見込まれる更新需要については、一定の更新需要額として財政見通しに反映します。	ご意見いただきありがとうございます。 中期財政計画においては、公共施設等総合管理計画やその他の主要計画を踏まえ、計画年度における個別施設の大規模改修等の財政需要を見込んでおります。 事業内容や実施年度が未確定の場合であっても、市として整備する方針が決定している案件については、中期財政計画に見込むよう努めております。

9	8	3.持続可能な財政基盤の確立 （3）健全財政の推進	同「健全財政の推進」に、中期財政計画の予測と実績の乖離検証を追加してください。 No.8の後に、次の趣旨を追加してください。 中期財政計画を改定する際には、過年度の中期財政計画において同一年度について見込んでいた歳入、歳出及び投資的経費等と、最新の見込額又は決算額を比較します。 大きな乖離が生じた場合には、物価変動、災害等の予見困難な事情、既存施設の修繕・更新、新規政策事業の追加、事業規模の変更その他の要因に区分して分析し、その結果を公表するとともに、次回以降の推計方法に反映します。	ご意見いただきありがとうございます。 ご指摘の中期財政計画の予測と実績の乖離検証については、公表等は予定しておりませんが、決算の確認等を行う中で適宜実施してまいります。
10	9	3.推進体制と情報公開 （1）推進体制	常設の市民改善提案制度を追加してください。 現行の「浜田市行財政改革推進委員会」や「浜田市議会」から助言を受ける仕組みに加えて、次の趣旨を追加してください。 市が実施する事務事業について、市民、利用者、事業者、関係団体及び当該分野について知識又は経験を有する者等が、随時、意見、改善案、代替案、効率化案、サービス向上案その他の提案を提出できる常設の仕組みを設けます。 寄せられた提案については関係部署で検討し、事業評価、予算編成、制度改正又は業務改善等に活用します。	ご意見いただきありがとうございます。 市民の皆様から随時、行政の改善案や効率化の提案を受け付ける仕組みは、市民参画の促進に有効な手段であると認識しております。 本市ではパブリックコメントの他に、市長直行便制度を設けており、日頃から市民のご意見・ご提案をいただきながら行政運営に活用しております。 既存の制度と重複する新たな常設の提案制度の設置は考えておりませんが、引き続き既存制度の広報・活用を図ってまいります。

11	9	3.推進体制と情報公開 （2）透明性の高い情報公開	構想段階での意見募集を追加してください。 現行の積極的な情報提供に関する記述の後に、次の趣旨を追加してください。 市の主要な事務事業について、事業名、担当課、目的、予算額、決算額、成果指標、実績等を分かりやすく公表し、市民等が各事業について随時意見や改善提案を提出できる環境を整備します。 また、総事業費 1 億円以上の事業、公共施設の新設・建替えその他将来の財政負担に大きな影響を与える事業については、事業内容や予算額が固まった後ではなく、基本構想又は基本計画が固まる前の段階から、事業目的、解決しようとする課題、想定する規模、概算事業費、市の負担見込額、将来負担、期待する効果及びその根拠等を公表します。 その上で、市民、利用者、地域の実情を知る者、関係団体、事業者及び当該分野に知識又は経験を有する者等から、意見、代替案、改善案、修正案及び補強案等を募集し、市はその検討結果を明らかにした上で事業案及び予算案を作成します。	ご意見いただきありがとうございます。 これまでも、特に市民生活に大きな影響を与える事業や将来にわたって多額の財政負担が見込まれる事業等については、パブリックコメント制度や市民向けの説明会等でご意見をいただきながら、事業化に向けて検討を進めてきたところです。 今後もそうした方法で、早期の情報公開、市民の皆さまの意見を踏まえた事業構築に努めてまいります。

12	9	1.推進方法	NO.2 から NO.11 までの仕組みを実施計画へ位置付けることを追加してください。 現行の「行財政改革大綱に基づいた行財政改革実施計画を策定し、毎年度、計画の進捗管理を行います。」という記述の後に、次の趣旨を追加してください。 実施計画には、事務事業情報の早期公開、詳細事前評価、代替案比較、公共施設のライフサイクルコスト比較、公共施設関係計画と中期財政計画との連動、中期財政計画の予測と実績の乖離検証、市民等による常設の改善提案制度、大型事業の構想段階における意見募集及び評価結果の公表を具体的な取組項目として位置付けます。 各取組について、担当部署、実施時期、実施方法及び進捗状況を明らかにします。	ご意見をいただきありがとうございます。 NO.2 から NO.11 について、取り入れられるものについては取り入れ、研究することとするものについては研究してまいります。 また、その他の詳細な部分につきましては、それぞれご回答させていただいたとおり努めてまいります。